



一口100万円プロジェクト 2025年秋募集

カンボジアにおける「小学校の教育環境を整えるプロジェクト」

教室は雨季の雨漏り、乾季の暑さにより安全な学習環境が整わず、授業集中が困難です。施設を整備し、衛生的で、女の子や経済的困難に直面し疎外されがちな子どもたちも安心してともに学べる環境を整えます。

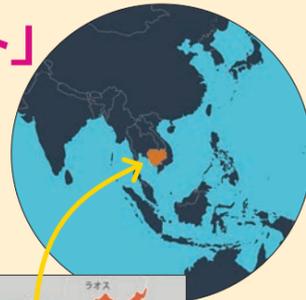
●活動期間 2026年4月～2027年3月（予定）

●実施地域 シェムリアップ活動地域

- おもな活動内容
 - ・新しい小学校校舎1棟の建設と整備および教室備品と教材の支給
 - ・給水システムと手洗い設備の整備および男女別と障害のある人用の衛生施設の建設
 - ・学校と衛生施設建設と維持管理をする学校建設委員会の設置とトレーニング、モニタリングのトレーニングおよび実施
 - ・教師5人（女性4人）、学校運営委員5人（女性1人）、関係者へのインクルーシブ教育と衛生に関する研修を提供
 - ・児童（144人うち、女子66人）へ衛生および月経衛生管理に関する意識向上セッションを提供
 - ・教師へジェンダー視点に立ったインクルーシブな教授法を提供し、女の子主導による学校環境のモニタリングを実施し、学びやすい環境を整備する

- 対象者
 - ・対象校の児童144人（うち女の子66人）
 - ・教師5人（うち女性4人）
 - ・住民約800人（うち女性約400人）

●予算 2,500万円



プロジェクト対象校



雨や暑さをしのげず床板もない教室



学校の手洗い場

現地からのメッセージ

スレイマム・タイさん
(小学校校長)

農村部の子どもたちは早起きして教室やトイレ、庭の掃除や整理整頓を行い、自分たちの学習環境を大切にしています。にもかかわらず、学習環境はひどいものです。子どもたちの学習環境と衛生状態の両方を改善したいです。

チャムルン・ネムさん
(教育担当職員)

シェムリアップは、観光地として人気が高まる一方で、多くの農村地域は、特に教育面で大きな課題に直面し続けています。農村部の子どもたちが、安全、安心で適切な学習環境の中で学び、成長できるよう、皆さまからのご支援をお願いします。

本プロジェクトに関するお問い合わせはこちらまでお願いします。
あたたかいご支援をお待ちしております。

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

「一口100万円プロジェクト」担当

Mobile : 080-7739-3430 TEL : 03-5481-6100 E-mail: hello@plan-international.jp

※ウェブサイト「一口100万円プロジェクト〈カンボジア〉」紹介記事のフォームからお問い合わせ、お申し込みいただけます

プロジェクトの詳細はこちらへ



未来をひらく 学び舎をつくる



一口100万円
プロジェクト
カンボジアにおける
「小学校の教育環境を
整えるプロジェクト」

2025年秋募集

ご支援いただくと

- お名前の入った記念プレートを設置します
 - プロジェクトの進捗報告書をお届けします
 - 活動地域をご訪問いただけます*
 - 節税にもなる税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けられます
- *現地事情により訪問できない場合があります

期間：2025.10/1(水)～2026.1/30(金)

女の子の未来プランを変えよう。



ご支援ありがとうございました！

過去に実施した一口100万円プロジェクトのご報告



トーゴにおける教育支援（2023年春募集） 「小学校の教育環境を整えるプロジェクト」

トーゴ中部・バサール県は貧困率が72%と高く、プロジェクト対象地域は悪路のため雨季は孤立しやすく、電気・水道などの基礎インフラも未整備でした。小学校は壁と屋根だけの簡素な造りで水道やトイレがありません。小学校の修了率は75%、女の子や障がいのある子どもはさらに低い水準にとどまっていた。



以前の教室



以前の教室外観

ジェンダーや障害に配慮した教室や男女別トイレ、井戸、教員宿舎などを新設し、学用品や教材、遊具、制服などの支給も行いました。また、保護者クラブ・子どものクラブの活動を通じたトレーニングにより、地域全体で、特に女の子や障害のある子どもが**安心安全に基礎教育を受けられる環境を整えました。**



成果1

適切な施設を建設し、教材や学用品を支給

児童**172**人（うち女の子70人、障害のある子ども16人うち女の子6人）と先生4人が、安心して学び教える環境が整いました



赴任教師の定着を図るための宿泊棟



男女別トイレ



新しい教室の前で支給された制服とザックを手にする子どもたち



チェインさん
(小学校校長)

「赴任した当初は雨が降ると授業ができないので子どもたちを帰していました。新しい校舎は天気に左右されずに授業ができるようになり、今年は入学人数も増えました。これからも地域の人たちと協力し、性別や障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちが教育を受けられるようにしていくことをお約束いたします」

成果2

教師用宿泊棟の整備と
太陽光発電を用いた電力供給、
学校やコミュニティの外灯設置



太陽光発電で照明がついた学校



井戸で水を汲む子どもたち

ナサラさん（10歳、小学校校5年生）

「学校に必要な教材と新しいカバンや制服をもらえて本当にうれしいです。学校に行くのがとても楽しくなりました。また、コミュニティに太陽光発電を用いた外灯が設置されたおかげで夜が明るくなり、明かりの下で勉強ができるようになりました。将来、助産師になるのが夢です。これからも一生懸命勉強を続けていきたいです」

ナボさん（地域のリーダー）

「このコミュニティは本当に貧しく世界からも忘れ去られ見捨てられたような場所でした。以前の学校はコミュニティで力を合わせて建てた雨風しのげる小屋のようなものでした。今は机を備えた教室があり多くの教材が備えられました。乾季に悩まされていた水不足も井戸を設置してもらったお陰で、いつでも水を使えるようになりました」

成果3

子どもクラブ**25**人、保護者クラブ**20**人が
ジェンダー平等とインクルーシブ教育の重要性について
トレーニングを受けました

コジョさん（14歳、子どもクラブメンバー）

「子どもクラブのトレーニングに参加し、障害のある子どもたちとともに地域社会で生きる大切さや、彼らの学ぶ権利について知りました。自分が障害のある人に対して失礼な態度をとっていたことにも気づきました。障害のために両親の愛情を受けられない子どもがいることも知り、これからは、彼らをサポートしていきたいです」



校舎に設置された記念プレート



歌やダンスで楽しみながらトレーニングを受ける子どもたち



ご支援者の声

子どもたちの笑顔を見られてうれしい。先生方のための宿舎も作られ、教育というものを広範囲にわたり考えられたプロジェクトで期待を上回るものでした。母が残してくれた遺産からの支援で母も喜んでくれていると思います。（E・O様 東京都）

中間報告、完了報告、見ごたえのある動画により、進捗状況と成果がよくわかり、現地とつながってプロジェクトを作り上げている、その完成をともに分かち合っているような喜びがありました。トーゴの皆さまの笑顔は見るだけで、こちらも幸せな気持ちになります。（M・F様 岩手県）



illustration by Noriyuki Goto

プラン・スポンサーシップの活動で築いた
地域との信頼関係を基盤に、
短期間に高額な資金で実施するプロジェクトは、
地域支援の成果を一層加速させます。